

- 5 キラリと光る「中村シムス成美さん」
- 6 親睦の会だより「能・狂言展示会鑑賞ツアー」
- 8 JCS日本語学校だより
- 12 オーストラリアで家を建てよう⑭
- 14 健康レシピ「キアヌサラダ」
- 15 進め！マルチカルチュラルリズム⑱
- 17 和子の愚駄話し⑭「流刑囚体験」
- 18 Let's アート「王侯貴族に愛された陶磁器」
- 19 アートレビュー映画・書籍・CD・DVD
- 21 暮らしの医療「ビタミンD」
- 25 ご近所プチウォーク⑧最終回Cooper Park

Luminosity(ひかり)VII

河原の小石を眺めながら、こんな色があったらなあ、と色付けてしてみた作品です。

(小崎洋美)

編集から

投稿原稿募集!

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「探し物」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

読者から

読者の声募集!

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多に役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

投稿先は、Email: hbma@optusnet.com.au まで。
※内容や文字数など、編集上の決まりによって、要約したり、場合によっては掲載を見合わせる場合があります。

お知らせ

JAPANESE TEA CEREMONY春のお茶会

Spring Annual Tea Gathering

日時:10月12日(日)

場所:Maiden Theatre, The Royal Botanic Garden, Mrs. Macquaries Road, Sydney

料金:\$20(二席 お抹茶とお菓子)

時間:各45分間

(11:00am, 11:45am, 12:30pm, 1:15pm, 2:00pm, 2:45pm)

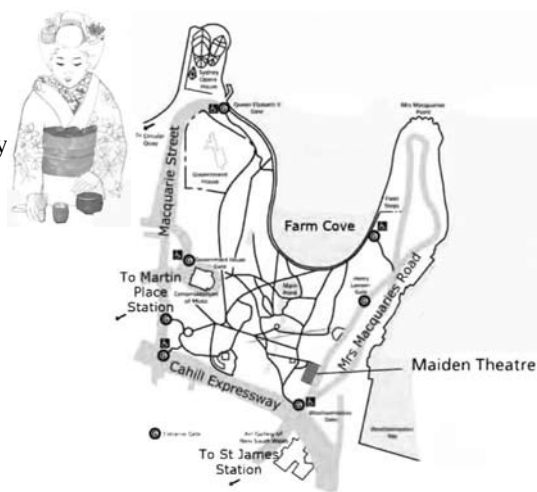
予約:ご希望の時間をお知らせください。

Email: chado.sydney@gmail.com

Phone: 0418-977-298 (Hanae)

主催:茶道裏千家淡交会シドニー協会

Chado Urasenke Tankokai Sydney Association Inc.



今年の祭りは12月13日(土)

日時:12月13日(土)11時~19時

場所:Tumbalong Park, Darling Harbour

今年も日本の祭りを盛大に催します。

出演希望者、出店希望者は、以下までご連絡ください。
祭り運営のボランティアスタッフも大募集しています。

Email: info@matsurisydney.com



本誌のカラー版は、電子版をダウンロードしてお楽しみください。

www.japanclubofsydney.org

JCS年間行事予定

月	会全体	親睦の会	コミュニティーネット	City校	Dundas校	その他イベント
10月	理事会(1日) 本誌発行(6日)	例会(18日)	シニアのおしゃべり サロン(22日)	保護者会(11日)、 オープンデー(18日)	始業式(11日)、 オープンデー、体験 授業(18・25日)	
11月	理事会(5日) 本誌発行(3日) 忘年会(22日)	例会(15日)	シニアのおしゃべり サロン(26日)	委員選出保護者会 (8日)、TC会議、ク ラス編成(15日)	TC会議、クラス編 成(8日)	

9月の 理事会から

日時： 9月3日(水)、19時～21時 場所：Dougherty Community Centre

出席： 水越有史郎、水野亮三、渡部重信、林さゆり、多田将祐、平野由紀子、山田朝子、コストロ久恵、藤田結花

欠席： チョーカー和子、岩佐いづみ、フレーザー悦子、新開珠貴 (敬称略、順不同)

1. 祭りへの出展について

昨年同様、浴衣撮影、金魚すくいの他に、日本の伝統文化の紹介をしたい。射的(輪ゴム)、クジ引き、フェイスペイントなどの案がでた。金魚すくいは日本語学校が担当できるか教育支援委員会に諮る。昨年の反省として、紙の張り替えに時間がかかるので300個ほど事前に準備する、ボランティアスタッフに何をするか明確に指示する、水汲みは力仕事なので男性に頼む、などの指摘があった。人員確保の必要がある。

日本語学校のブースを設置し、売り上げの一部をJCSに支払うなど提案がでた。テント(1000ドル位)は借りる。浴衣撮影は好評なので今年も行なう。日本のサイトから浴衣を安く購入できるか、昨年の担当者を確認。浴衣だけでなくコスプレ(アニメキャラクター等)撮影はどうかとの提案あり。コスプレはチャイナタウンで25ドル位で入手できる。食べ物の出店の提案がでたが、食品衛生管理責任者が必要なので難しい。

2. 忘年会について

昨年は30周年記念で独自に行なったが、日本人会と合同だと会費が高くなるので今年も独自にレストランで行うことで検討。交通の便がよく、70～80人収容でき、余興ができる店として、カムフックチャイニーズレストラン(チャッツウッド)とアターモンのすしやが候補として上がる。カムフックは二階に個室があり100人収容可能。すしやは80名ほど収容できるか要確認。今年の会費は昨年同様(大人55ドル、子供25ドル)にしたい。時期は11月22日(土)か29日(土)を検討。

3. シティ校スピーチコンテストの報告

8月23日に行われた。在シドニー日本総領事館の領事を含む5人が審査員。その他協賛企業から来賓として迎えた。テーマは「夢(大きくなったら)」。先生たちは意欲的であったが、一部反対の意見がでた。子供のための行事なので、大人の都合は控えた方がよいのではという意見もある。TC会議(11月)で来年の予定を検討。教育支援委員会で話し合う予定。協賛企業から賞品の提供を受けるなど、いろいろな方の支援をうけ感謝している。今後も続けたい。

4. 椋山女学園のダンダス校来校の報告

ダンダス校に椋山女学園の学生21名、教授1名が3週間にわたって来校。16日、23日に授業の手伝いなどしてもらった。23日夜は食事会を行い交流を深めた。保護者からも好評だった。アンケートを行い来年も受け入れるか検討。3時間の授業の1時間が交流にとられ、先生の授業計画が狂うなど、問題点も挙げられた。

5. ハーグ条約のセミナー開催について

グラント申請についてチョーカー前会長が調べている。総領事館の協力も得る方向で検討。JCSとしてセミナー開催に問題ないか確認。場所はChatswoodのDougherty Community Centreを予定。また、講師には顧問弁護士の林弁護士を予定。担当領事にも参加してもらうことを検討。

6. ウィロビー市主催スプリングフェスティバル

9月6日のパレードは親睦の会に参加を呼びかけている。ソーラン踊り隊も参加。MOSAICのJapanese Social Groupも参加するが、親睦の会と重なる会員がいるので、パレード参加をどのグループでするか明確にする必要がある。ウィロビー市はMOSAICとJCSのどちらが日系コミュニティの窓口なのかかわからないので、来年からはJCSが窓口になるようにしたい。雨天の場合は、カウンセルに要確認。

9月25日(木)のAround the World with 80 Quizzes & GamesにはMOSAIC Japanese Social Groupからボランティアの方が参加されるようなので、JCSのストールのお手伝いについては必要がないかどうか、チョーカー理事に確認する。

7. 「東北復興祭」イベント計画

毎年3月に開催しているイベントを来年はJCSが主催したいと、実行委員の平野理事から提案があった。これまで環境団体などが共催していたが、今後の催行が難しくなっている。イベントは東北全体の復興が主旨。JCS主催だとイベント開催が容易などの利点がある。実務は平野理事が中心に行っていく。また、2015年は5周年ということもあり、JCS内部で“東北復興際実行委員会”という組織を立ち上げるのは可能か？日系三団体として開催する可能性を探る。

8. その他

本誌6月号「理事会議事録」の従軍慰安婦像設置に関する討議について、掲載文に言葉足らずの部分がありました。シドニー日本クラブとしては、政治的、宗教的な活動を控えるとした会設立以来の活動方針に則り、会員の個人的な活動はともあれ、会として設置反対運動を行うものではありませんので、ご理解をお願い致します。

9. 会員数報告

総世帯数：291世帯

※次回の理事会は、10月1日(水)午後7時より、Dougherty Community Centreにて開催。



「チェサロン デイ・サービス」10月22日(水)

ロンガヴィルの閑静な住宅街にある、65歳以上の日系の方を対象とした「シニアのためのサロン」です。チャットウッドからの送迎バスに加え、センター近くの方にはご自宅への送迎が可能です(事前にお問い合わせ下さい)。初回のみ登録のための用紙記入が必要となります。人数に制限がありますので、継続参加が可能な方歓迎です。お試し参加可能(有料)。(事前申し込み必須。キャンセルは2日前までをお願いします。)

9月24日のチェサロン、デイサービスは8名のメンバー、3名のボランティアで和やかに行われました。メンバーの永井三江子さんのピアノに合わせて歌を歌った後、Show & Tellでは終戦後体験談や認知症についてのお勧めの本の話をしていただきました。Chattie's Komachi Cafeの美味しいお弁当を食べた後、14筋体操、そして手や指を使った脳トレーニングを前庭でも行いました。

日時: 10月22日(毎月第4水曜日開催) 午前10時30分~午後2時30分

会場: チェサロン・アングリケア・デイセンター(ロンガヴィル)Christina & Arabella Streetの角、Longueville

無料送迎バス: モザイク前(MOSAIC, 12 Brown Street, Chatswood)午前10時出発(時間厳守)

参加費: \$ 15(和食弁当、お茶菓子含む)

活動内容: ちぎり絵、スケッチ、編み物、歌、脳トレーニングゲーム、習字、タイチ等

申込先: コミュニティーネット jcscommunitynet@gmail.com ピーコック京子 ☎9869-1972



向井さんのタイチ



優季さんの指運動



向井さんの
Show & Tell



前庭で、脳トレの
為に計算をしな
がら歩いている

転ばぬ先の杖セミナー:

2014年度最終回「記憶と加齢」セミナー大盛況!

多文化コミュニティ相談サービスとJCSコミュニティーネットが連携して、65歳以上の方へ向けてのセミナー、今年最後のテーマは「記憶と加齢」です。

アルツハイマー協会からスピーカーを迎えて、記憶力の変化と加齢、認知症とは? 初期の兆候と症状、そして認知症のリスクを減らすためになど、最新の役立つ情報をご説明いただきました。この度は、ドグティセンター開催の予定が、工事の都合で、ウィロビーカウンスルで開催しました。通常、カウンスル議員らが会議をするような広々としたお部屋に35名もの方々にご参加いただきました。

これで私たちによる今年のセミナーは終了しましたが、なるべくまた来年も続けていけるようがんば

っていきたいと思いますので、みなさんもどうぞ引き続きご参加ください。

日本語対応「もしもし電話窓口」0423-037-180

オーストラリア連邦そして州政府による福祉機関でどのようなサービスが受けられるのか、また高齢者としてどのような選択があるのかをお調べすることができます。たとえば、芝刈り、認知症についてのデイケアなどのサービス、また、買い物の付き添い、シーツの洗濯/取り替えやシャワーのお手伝いなど、毎日の生活に不自由を感じてきたらお気軽にお電話ください。なお、ご案内はCNメンバーによる対応で日本語ですが、サービスはいずれも基本的に英語となります。

メラリと光る

あの人・この人

【第51回】

中村 シムス 成美(しげみ)さん

グラフィックデザイナー、
セルフディフェンス・インストラクター

空手の黒帯を持っている女性、イコール、「大柄で体格がよく化粧をしないボーイッシュな感じの女性」。成美さんは、そんな一般的なイメージをくつがえしてくれる。一見すると、小柄できゃしゃな成美さんからは、空手の黒帯を持っているなんて到底想像できないが、こんな女性が黒帯なんて、なんともかっこいい！



成美さんの本業はグラフィックデザイナー。Polkadot Graphicというビジネスネームで、ロゴデザイン、ブローシャー制作からウェブデザインまで、様々な制作を手がけている。

成美さんの一番の趣味は、空手。いや趣味が高じて副業になったといった方が当たっているかもしれない。流派は極真空手だ。二人の息子さんが空手を習っていたが、次第に送り迎えが面倒になったことに加え、息子さん二人と一緒に何かできるようになりたいという思いが、空手を習い始めるきっかけになった。これが2002年、成美さん42歳の時である。

その後、息子たちはやめてしまったが、成美さんは一人で空手を続け、2012年に52歳で黒帯獲得。肉体はもちろん、精神的に強くなった、と成美さん。絶対に自分にはできない、という限界をクリアしていった黒帯を獲得するに至った時、特にそれを感じたという。

空手の帯はいったい何色から始まるんだろう？極真空手の場合はこうだ。まず白から始まり、次が赤、その次は赤にラインが入り、これが9級。そして、青、青+ライン、黄、黄+ライン、緑、緑+ライン、と続く。茶は2級で、その後、茶+ラインが1級。黒はご存知の通り、初段。

成美さんは2007年に、20代の男性との空手の練習で保身しきれずに顔を蹴られてしまったことがある。内出血ですごく腫れて、目の回りが紫色になってパンダのようになってしまった。メイクでも隠しきれず、みんなにDV(家庭内暴力)だと思われてしまったそう。会社に行くと、みんなにじろじろ見られるし、クライアントに会っても、クライアントが目をそらして

しまう。その時にはやめることも考えたが、やめたらその相手の子がかわいそうだと思い、気を持ち直したそう。

辛かったエピソードをひとつ。黒帯を取る時の試験で、ナイフアタックに対抗するディフェンスを見せる、というのがあった。先生との初めての練習の時、おもちゃのナイフが使われたのだが、おもちゃと言えども当たれば痛い。よく知っている先生であっても、1対1で大きな体のごつい男性がナイフを振り回しているのである。成美さんは、ものすごい恐怖心を感じ、あまりのこわさに泣いてしまったそう。練習中に何度もナイフで切りつけられ、先生に「おまえ、何回も死んだぞ」と言われた。その時は、練習を続けられずに家に帰り、空手をやめようかと思った。だが、これ以上はできないと思っている限界を少しずつクリアして、1級、1級、上に上がって来たのだ。成美さんは気を取り直して、ついにナイフアタックの練習を克服した。

2012年3月に黒帯を獲得した成美さんは、現在は、先生の代わりに空手クラスを教えたり、個人レッスンをしたりしている。この度、本格的に自分のクラスで教え始めた。女性のためのセルフディフェンスのワークショップだ。思いのほか反響があり、これからは定期的に行う予定だという。女性はほとんどがちゃんとした殴り方も知らない、とクラスを教えて実感した成美さん。殴ると自分の手を痛めるから、痛めないように、そして女性の力でも最大限に使えるような殴り方を知ることが大切だ。世の中何が起こるかかわからない。トレーニングをしている人は、保身する時に筋肉を固められるので、普通の人に比べて痛さが半減するのだそう。

このワークショップは、Kuro Obi Dojo(96 Crystal Street, Petersham)にて開催。1セッション\$25。

「80になってもチャレンジしていきたい。黒帯で教えていきたい」と話す成美さん。「42歳で空手を始めたという、人は「え〜っ」と驚くけど、全然大丈夫。年齢は関係ない。要は自分の気持ち次第」ときっぱり。「いくつになってもチャレンジできますよ！」。

ワークショップや成美さんへのお問い合わせは:

Email: shigemi@polkadotgraphic.com.au

携帯: 0413-178-972 www.polkadotgraphic.com.au

(記: マーン薫)



親睦の会 だより

皆さんの地区幹事

- ・A地区 (North Sydney以南): 有泉浩子 (Tel: 9436-4159)
Email: hirokoarizumi@iprimus.com.au
- ・B地区 (Chatswood以東): 宮下義夫 (Tel: 9417-6715)
Email: miyashitayoshio@gmail.com
- ・C地区 (St. Ives以北): 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumiko@pacific.net.au

親睦の会役員

会長: 林さゆり、副会長: 有泉浩子、事務局長: 清水和美、会計: 宮下義夫、会計監査: リヒター幸子
ボランティア: 岸美枝子、竹内美佐子、橋本克子、村田智富子、鷲頭富江 (五十音順)

【会員募集】 会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、昼食を食べながらの情報交換、様々なテーマで講師をお招きするなど、毎月趣向を凝らした内容が盛り沢山。現在約90名の会員がいます。JCS会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ピジターも大歓迎。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

【2014年10月例会のお知らせ】

「爆笑クイズ大会」

賞品も用意しています。

頭に汗かき、楽しく遊びましょう！

日時: 2014年10月11日(第2土曜日)正午～午後3時

18日(第3土曜日)は日本人学校のフェイトが開催されるため、11日にします。お間違えのないようご注意ください。

参加の場合は10月8日(水)迄に、ご自分の地区幹事まで、お弁当とおはぎの数をご連絡ください。

会場: The Dougherty Community Centre

7 Victor Street, Chatswood

会費: 会員\$3、非会員\$5、(お茶・コーヒー・紅茶代込)

■マイカップもお忘れなく

近頃は殆どの参加者がマイカップをお持ちくださっています。経費節約の為のマイカップ運動にご協力ありがとうございます。

■お弁当の注文 和食弁当\$10

夕食用等のお持ち帰り用弁当(\$10)の注文も受け付けます。尚、お持ち帰り用弁当を注文された方は、保冷剤等をご用意されることをお勧めします。

■おはぎの注文 おはぎ2個入り1パック\$5

【2014年9月例会報告】

2014年9月13日(土)の月例会は、NSW州立美術館(アートギャラリー)で開催されている文化庁主催日本古美術海外展「能・狂言展示会」の鑑賞ツアーを愉しみました。総勢28名の参加者の内、20名は親睦の会で手配した専用バスでドガティ・センターから出発し、他の参加者とは現地で落ち合いました。美術館内に入り、林さゆり会長からスケジュールの説明を聞いた後、地階のカフェで各自好きなものをオーダーして昼食をとりました。開放感のある明るいカフェでは、いつもに増してゆったり談笑しました。

様々な要望にも親切に対応くださったNSW美術館アンバサダーの鴨粕弘美さん。素晴らしい説明に感動しました。心から御礼申し上げます。



午後1時30分「能・狂言」特別展示会場の入り口では、美術館の担当者と今回案内をして下さるアンバサダー、鴨粕弘美さん、森岡薫さん、そしてジョーカー和子さんの3名が待っていただきました。長年シドニーに在住してお知り合いの参加者も多く、そこで会えたことを嬉しく思いました。鑑賞ツアーは3組に分かれて進みました。ご年配の方が、立ちっぱなしでは疲れてしまうのではないかという懸念を伝えると、鴨粕弘美さんが折りたたみ椅子を会場に手配してくださいました。親切なご配慮を有り難く思いました。

展示品は日本国及び国立能楽堂が所蔵する能楽(能・狂言の総称)に関する文化財で、オーストラリアでは初めての展示です。胸弾ませながら入っていくと、豪華な装束に目を見張りました。加えて、堂々とした力強さも伝わってきました。アンバサダーの分かり易く詳細に渡る説明を伺いながら見ていると、装束が今にも動作しそうな魂も感じられました。

164点にも及ぶ展示品は、能の装束、面、楽器、謡本を展示する部屋と狂言に係わる展示の2部屋に分けられていました。能の装束は全て豪華な絹で作られていて、由緒ある名前が付けられていました。時代によって流行も変化したこと、シテ(能の主役)の背丈や肉付きにも合わせ、舞い易い工夫がなされているのには感嘆しました。能面の小面(こおもて)は誰もが目にしたことがある馴染み深いものですが、同じ形の3つの面をそれぞれ上、正面、下に傾けて並べてあり、スポットライト効果での陰影で、同じ面でありながら物悲しさ、歓喜、怒気が伝わってきました。また、面を内側からも見えるような展示法で、シテが顔を顔に掛けた時の狭い視界を除くことができ、貴重な経験をさせていただきました。能の楽器である能楽囃子の笛、小鼓、大鼓を鑑賞していたら、なんと耳に曲が流れてきました。ふと後ろを振り返ると、壁面のスクリーンでは、有名な演目「道成寺」が放映されていました。腰掛けも用意されていたので時間さえ許せば、じっくり観ていたい気持ちになりました。

さて、2つ目の部屋に足を踏み入れると、一般庶民の日常や人間の滑稽さを題材にした寸劇である狂言の展示品が並べられていました。主に仕える召使い



NSW美術館での「能・狂言」鑑賞は、忘れられない良い思い出になりました。
文化庁とNSW美術館のみなさまに心から感謝申し上げます。

の筆頭者であり、狂言に登場する役柄では代表的な「太郎冠者」が身に付ける衣裳は、当時の一般庶民の装いを表した麻の染物でした。溜め息が出る程の豪華な能装束とは異なっていますが、柄は、大胆でユーモラスなものが多く、アンバサダーから柄についての隠れた意味合いを教えていただいた時には、笑いまで出ました。狂言面は、これまた能面と異なり、出っ張っている部分やへこんでいる部分が目立ち、神や鬼そして動物などの扮装に用いるのだそうです。狂言は、能と同じ舞台で交互に演じられてきました。ユネスコの「無形文化遺産」に登録されている価値のあるものを、当地シドニーで鑑賞出来たことは、至上の喜びでした。

鑑賞ツアー後は地階の特別室に移り、美術館のボランティアでご年配の女性もてなして下さったアフタヌーン・ティを美味しくいただきました。おやつを食べながらバス出発時間まで、驚いたり感激した展示品の話題で盛り上りました。

3名のアンバサダーのお陰を持ちまして非常に有意義な時間を過ごすことができました。今でも展示品が心に蘇ってきます。改めて深く御礼申し上げます。また、日本の優れた文化財を紹介して下さった文化庁とNSW美術館のみなさまにも衷心より感謝申し上げます。最後になり失礼ですが、鴨粕弘美さんにおいては、さゆり会長との3カ月にもおよぶ打ち合わせで、様々な要望をお出ししたにもかかわらず、親切にご対応くださったことを、ここに重ねて御礼申し上げます。

3名のアンバサダーにおかれましては、今後益々のご健勝とご活躍をお祈りしております。是非、親睦の会にもいらしてください。会員一同お待ちしております。

【お知らせ】

■9月6日(土)は残念にも雨天でしたが、シドニー日本クラブ「親睦の会」も各国のグループと並び、Willoughby Spring Festivalでチャッツウッドのメインストリートをパレードしました。



■茶道裏千家淡交会シドニー協会では、10月12日(日)ロイヤル・ボタニック・ガーデンで「春のお茶会」を開きます。参加ご希望の方は、林さゆり会長までご連絡ください。

■11月例会は、8日(第2土曜日)台湾人会と合同でカラオケ大会を催します。会場は、通常のドガティセンターではなく、チャッツウッド駅前です。住所等詳しい事は、Emailおよび次号の「JCSだより」でお知らせいたします。

■8月例会では、「親睦の会」年次総会も開催しました。参加者には、議事録を配布しましたが、副会長: 斉藤美章さんから有泉浩子さんに変更。事務局長: 有泉浩子さんから清水和美さんに変更することが可決されましたのでお知らせします。今後共よろしく願いたします。

JCS日本語学校シティ校 JCS Japanese School

- 学校: Ultimo Public School
(Cnr Quarry & Wattle Streets, Ultimo NSW 2007)
- 連絡先: PO Box 902, Glebe NSW 2037 電話: 0407-461-618
- 授業: 毎週土曜日 / 幼児部: 9:30~12:10、小学部: 9:30~12:15
- Email: jcs-jpschcity@hotmail.com
- http://cityschool.japanclubofsydney.org/



雨の中、運動会を開催

6日の運動会は生憎の雨で延期となりましたが、13日に行われました。ここ数週間あまりにも雨がふり続き、授業中やご家庭でもてるてる坊主を作ってくれたとの声が多々聞かれました。

13日も悪天候により一旦は中止を決めましたが、すぐに雨がやんだこと、実施日がその日しかなかったことなどの理由で再開することになりました。

まずはすばる座による堂々とした司会、選手宣誓。最年長クラスはさすがです。競技は徒競争に始まりボールはさみリレー、お玉リレー、輪くぐりリレー。そして親子によるおんぶリレー、二人三脚。この時点で雨がかなり強くなったため残念ながら中止となりました。

日本ではおなじみの騎馬戦、玉入れ、綱引きは雨のため、そしてグラウンドの状態が悪かったため中止せざるをえませんでした。委員としてもとても残念でしたが、怪我もなく子供たちが雨の中の運動会を楽しんでいたのがなよりの救いです。その後、閉会式がホールで行われました。しし座、おひつじ座によるすばらしい司会、終わりの言葉となりました。

今年の運動会は特に雨の中、保護者、先生、高学年生徒のご協力の下、けがもなく無事に終わることができました。みなさんお忙しいところどうもありがとうございました。雨で延期になり、運動会に参加できなかった生徒も来年は参加できるといいですね。

クラス紹介 くじら座

くじら座は男子5名、女子9名と、女子生徒が多く、数字的には女子パワー(?)がクラスを圧倒していますが、数的には少ない男子生徒もそれぞれの個性を十二分に発揮し、とても活発なクラスです。前年のクラスが同じだった生徒も多いため、生徒同士も仲が良く、またクラス全体が新入してきた生徒をすぐに受け入れてくれる雰囲気があります。

1学期はひらがなの復習から始まりましたが、年齢や日本語能力の差が大きく、ひらがなの読み書きにもかなりばらつきがありました。生徒一人一人の興味やレベルを考慮しながら、ひらがなの復習を徹底した結果、多くの生徒がひらがなの読み書きができるようになりました。生徒同士が協力し合い、ひらがなが苦手な生徒もひらがなを克服できたことは大きな成果です。

ひらがな学習が比較的定着した1学期の後半には、

カタカナ学習も始めました。ひらがながやっと定着してきたという生徒もおり、カタカナ学習は時期的に少し早いのではと思いましたが、絵日記などに積極的にカタカナを書く生徒やカタカナを勉強したいという生徒も多かったため、身近にあるカタカナから学習を開始しました。学習開始当時はひらがなとカタカナの違いを理解するのが難しく混乱する生徒もいましたが、今ではカタカナも驚くほど定着してきました。絵日記でも日常生活でカタカナ(地名や行事など)を使用することが多いため、生徒自身がひらがなとカタカナの違いを認識し、カタカナを書く機会も増えました。

また、様々なクラス活動や学校の行事にも積極的に参加しています。特に学校主催のスピーチコンテストでは、学習したひらがなとカタカナで「文章を書く」という作業は生徒にとっても貴重な体験になったよう



です。テーマに沿った内容を日本語で考え、スピーチするという工程は生徒たちには大きなチャレンジだったようですが、その作業を通して日本語学習の意義や楽しさを学んでくれたと自負しています。

最近では、日記に漢字を書いてくる生徒も出てきました。そのため、生徒の興味を最大限に引き出し、日本語学習にさらに意欲をもってもらえるような授業を行っていきたいと考えています。今学期の最終授業では、「漢字の紹介」をしました。最初は興味を示さない生徒もいましたが、漢字の起源について絵を使って説明すると、すぐにその漢字を認識し、「もっと漢字を勉強したい」という生徒も出てきました。

日本語学習は目標と興味を持続できれば、継続して学習ができると確信しています。今後も生徒が興味を示すものは積極的に取り入れ、楽しく学習ができるような授業と環境を心掛けていきたいと考えています。

(担任:パットマン照子)



JCS日本語学校ダundas校 JCS Japanese School Dundas

- 学校: Dundas Public School
(85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)
- 連絡先: 電話: 0411-734-819
- 授業: 毎週土曜日/9:30~12:15
- Email: jcs-jpschdundas@live.com
- http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html



ダundas校9月の行事

9月6日は、各クラスで父の日のクラフト作成が行われました。生徒とお父さんの手形を合わせた物や、おりがみを使ったメッセージカードなど、色々な作品が出来上がり、どの作品も生徒たちがお父さんへの感謝の気持ちを表した素敵な父の日の贈り物になりました。



さらにこの日は3つのクラスで調理実習があり、日本では中秋の名月であることにちなんでお団子を作ったクラスや、持ち寄りで豪華なちらし寿司を作ったクラスがありました。



残念ながら、お天気には恵まれず雨が降る肌寒い一日でしたが、各クラス、雨よけの下で保護者と一緒に料理を楽しみ、美味しい日本の料理をいただきました。

9月13日はダundas校3学期最終日で、毎年恒例の運動会がありました。(運動会については次回詳しく書きます。) その後は、10月11日の4学期始業式まで長いタームホリデーに入りました。生徒の皆さんが、休み明けに元気に登校する姿を、教員・役員ともに楽しみにしております。皆さん風邪などに気をつけて、宿題も忘れずに、良いホリデーをお過ごしください。

クラス紹介 青空組

青空組は、Y2・Y3の子どもたち、男女計8名のクラスです。みんな明るく元気いっぱい、毎週張り切って授業に参加してくれており、授業の始まりと終わりには、日本の学校のように「起立」、「礼」、「着席」という号令を掛け合って、休み時間とのけじめをつけています。

さて、授業についてですが、今年度青空組は、1年のこくご教科書下に沿って学習しております。新学期時を考えてみると、音読はもとより、内容の読み取

りや細かい感情表現なども、きちんと押さえることができるようになってきています。2学期に学習した「ずうっと、ずっと、大すきだよ」(こくごの教科書p46~p57)の単元では、ぼくの飼っていた愛犬エルフの死を通して、「いのちあるもの」の「死」が避けられないこと、だからこそ「いのちある現在」を大切に、「いのちの尊さ」を学んでいく必要があることを伝えました。また3学期の「どうぶつの赤ちゃん」(こくごの教科書p86~p95)では、ライオン、しまうま、カンガルーなど、色々な動物の赤ちゃんの違う点を見ていながら、自分が赤ちゃんだった頃のことを、家の人に尋ねて比較するとともに、「人」が「生まれて」、「成長する」にあたって、どんなに周りの人たちの助けが必要かを知り、自分たちが、みんな愛されて大切に育てられてきたんだということを、しっかり確認しました。どの子も毎回興味を持って授業に取り組んでくれていることを嬉しく思います。

また、この単元を学習した際に、ちょうど日本からの教育実習生と、夏休みを利用してこちらに来られた子どもさん2名を迎えた青空組でしたので、ここシドニーで、みんなと出会えた感謝の気持ちをこめて、『みんなに会えて本当に良かった』のピースオブアート(写真)も楽しみました。

最後になりますが、日本での公立学校の教員生活を経て、今ここダundas校でお世話になっております私のモットーを一言！勿論日本語学校ですので、日本語の語彙を増やすこと、ひらがな、カタカナ、漢字の定着などは大事ですが、私は、人種、言語を超えたところにある、人間の深い感受性を探り出し、琴線に触れる授業ができればいいなと思っております。ここオーストラリアでグローバルに生きる子どもたちが、他人を気遣い、自らを大切にしつつ、生き生きと、これからの社会に大きく羽ばたいていけますように！！

それでは、いつもご協力くださっている青空組の保護者の皆様、ダundas校の役員の皆様に、この場をお借りして深謝申し上げます。

(担任: 宮本恭子)



JCS教育支援委員会より

継承日本語セミナー

シティ校では8月30日(土)に、先月に行われた継承日本語についてのセミナー「継承日本語を育てる」に参加することの出来なかった保護者の方々のために、特別に用意したビデオと資料を公開する機会を設けました。これはHSC日本語対策委員会が主催したセミナーでカルフォルニア州立大学より片岡裕子教授と、ダグラス昌子教授にお越しいただいて、継承日本語についての講演をお願いした時のものです。

この日はHSC日本語対策委員会恒例のファンディングのための大福販売や古本販売も同時に行われました。ビデオ公開セッションに参加すると、セッションとお茶、大福代がセットでお得な値段になるという委員のアイデアも良かったのか30人強の参加者がありました。セミナーが平日の夜開催だったこともあり、参加したくても出来なかった保護者の方々の関心の高さが表れていたように思います。また、シティ校からも別途に寄付をさせていただきました。

お茶を飲み、大福を食べながら、なごやかな雰囲気

の中で継承日本語について知識を得たり、子供の日本語力を育てるために親ができることについて考えたり、意見交換をしてもらえよいい機会になったのではないのでしょうか？

週1回3時間の補習校の授業だけで日本語が上達するということはありません。毎日の家庭における普段の親との会話や意見の交換、はげましがあってこそ、子供たちが日本語学習を楽しく続け、発達させていけるのではと今回のセミナーで思いました。

オープンデー開催

10月18日にはオープンデーが開催されます。

来年から子供の入学を考えている保護者の方にとって、継承日本語とは何か、シティ校でどのような文化行事を行い、どんな学校かを知っていただく機会になっています。また、先生による模擬授業も見ただけでするので、入学をご検討されている方はこの機会に是非お越しください。



ダングラス校流れ星の授業風景



朝のラジオ体操(ダングラス校)



ダングラス校太陽の授業風景

シドニー日本クラブからのお知らせ

オープンデー & 説明会

シドニー日本クラブ(JCS)日本語学校の2キャンパス(シティ、ダングラス)が2015年度入学、編入希望者を対象にオープンデーを開催します。

2校は、日本語学習に加え、四季折々の行事を通じて子供たちの日本文化や習慣への理解を深める取り組みを行う、「継承日本語教育」を推進しています。



シドニー日本クラブ
(Japan Club of Sydney Inc.)

TEL : 0421-776-052
E-mail : jcs@japanclubofsydney.org
Web : www.japanclubofsydney.org

JCS日本語学校シティ校

日時: 10月18日(土)午前中10:00~11:30の間
問い合わせ先: シティ校 教務係
※事前に下記Emailまでお子様の詳細(名前、生年月日、現在のローカル校の学年)をお知らせください。その後オープンデーの詳細をご連絡させていただきます。
Email: jcs.seito@hotmail.com
Tel: 0407 461 618
PO box: PO Box 902 Glebe NSW 2037

JCS日本語学校ダングラス校

日時: 10月18日(土)と、10月25日(土)の2日間の午前中9:30~12:15
問い合わせ先: ダングラス校 教務係
※お越しになる前に事前に下記、Emailまでお問い合わせください。
Email: jcs-jpschdundas@live.com
PO box: PO Box 1072 Dundas NSW 2117



メンバーの誕生パーティーと学校のワークショップで踊りました！

9月はいくつもイベントがありました。6日(土)は恒例のスプリングフェスティバルのパレードに参加しましたが、雨に見舞われてしまいました。11日(木)はChatswood小学校のMoon Festivalに参加。14日(日)は踊り隊メンバーの誕生パーティーで踊りを披露。プライベートな集まりでの踊りも楽しかったです(写真)。21日(日)はKyeemaghの小学校のマルチカルチュラルフェスティバルで踊りました。



今年も数々のイベントに参加して、日本の踊りを披露していきます。皆さん応援よろしくお願ひします。もちろん一緒に踊りたい方、大歓迎です！

踊り隊では毎週練習を行っています。是非、ご参加ください。

- ① Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray) 毎週土曜日2時～3時
 - ② シドニー市内では初心者の方を中心に練習しています。毎週火曜日6時半～8時
 - ③ Marrickville West Public School (Cnr Beauchamp St & Livingstone Rd) 毎週月曜日4時～5時
- 参加ご希望の方は、平岡正美(携帯:0406-511-221または、Email: masa7833@hotmail.com)までご連絡ください。

スポーツ天国 SPORTS 第81回

定選手を、中国、韓国は世界ランク20位台の選手を派遣していました。

シドニーで世界レベルの卓球を観戦できる貴重な大会です。お時間のある方は是非。

日豪中韓対抗卓球大会

11月24,25日の両日、Ryde Community & Sports Centre (ELS Hall Park, Kent Rd, North Ryde)で、オーストラリア・日本・中国・韓国の4カ国対抗卓球大会「ベネロング・カップ」が開催されます。

オーストラリアは五輪にも出場したトップ選手が参戦予定ですが、世界のトップレベルのほか3カ国は代表予備軍が来豪するかと思われます。ちなみに昨年の日本は東京五輪を見据えたエリートアカデミー指



※会員の皆さんからの情報も受け付けていますので、いろいろ教えてください。よろしくお願ひします。Eメールは、kenerit@gmail.comです。(ぴか)

外食日記



Paparich

住所 Shop 5, 185-211 Broadway, Ultimo
 電話 (02) 9281-3228
 営業 日～水11am-9pm、
 木～土11am-10pm
 価格帯 \$20～
 雰囲気 8
 サービス 8
 料理 8

パパラッチじゃなくてパパリッチ。お金持ちのお父様のお店なんですか？名前からしてイタリアン？ところが意外にもマレーシアン、チャイニーズなんです。こんなふざけた店名なのに、開店当初から行列ができるほどの賑わいぶりです。内装やテーブル配置など雰囲気は悪くなく、注文はテーブル備え付けの注文用紙にメニュー番号と数量を書き込む方式で、日本のファミレスに近いものがあります。肝心の料理ですが、これもスピード感がありつつなかなかのお味です。お勧めはカレー3種とロティーのセット。カレーはピリッとした本場の味わい。出来たてロティーはちょっと甘め+熱々で、ふっくらさくさくしててまことに美味です。量は多めで値段は良心的。若い人に受けるはず。お店はチェーン店で、マレーシアをはじめ中国、インドネシア、シンガポール、オーストラリアなど世界的に展開しています。シドニーではチャッツウッドやパラマタにもあります。



オーストラリアで 家を建てよう

第14回

ひなっち

皆さんこんにちは、通算14回目の登場となります。スペースの約5分の1程度を占めるいつもの長い前置きは今回はばっさり割愛し、たまにはストレートに本題突入しましょう。

前は、『時は2010年6月、ワールドカップ南アフリカ大会。我がニッポン代表、カメルーンとデンマークを撃破し決勝T進出したものの、駒野のPKがバーに嫌われ…、そして、「岡ちゃん、ゴメンね!』というところで終わってます。

思い返せば4年前のW杯は楽しかったよな〜。それに比べて今回のアッサリ感…。

とにかく世間はW杯南アフリカ大会に浮かれ、ギラード首相(当時)が就任したこともあってニュースではまったく取り上げられなかったが、我が家にとっては一大ニュース。そしてこのコンクリ土台の完成により、建設費総額の20%相当の支払い義務が発生。銀行からの住宅ローンで賄うことにより、借金がドンと膨らんだ。

ちなみにBUILDERへの支払いスケジュールがどうなっているかというと、

- ①DEPOSIT(手付金として総額の5%)
- ②BASE(土台完成時に20%)
- ③FRAME(枠組みが完成して窓枠が埋め込まれたら20%)
- ④LOCKUP(外壁と屋根が完成し、玄関ドアが設置されたら25%)
- ⑤FIXING(内壁が完成し、各部屋のドアやキャビネットが取り付けられたら20%)
- ⑥COMPLETION(電気・水まわりなどの内装が完成し、瓦礫等の廃棄処理が終わったら最後の10%)

というスケジュール。建築が進めば進むほど、借金は雪だるま式に膨れ上がり、借金大魔王がまたひとり誕生するしくみとなっている。

あれ?このスケジュールって前も書いたっけ?書いてないよね?いや最近、記憶が一部飛んだりする症状に悩まされているもので。例えば「ネットでアレ調べよう!」とPC開いたままではいいが、習慣でいつもチェックするサイトにアクセスして見入ったりすると、「あれれ?自分は何を調べようとしたんだっけ?」みたいなこと、皆様には身に覚えありませんか?

土台が完成してからは建築はとんとん拍子に進んだ。ここがオーストラリアであることを否定することごときスピードで。大量の材木が運び込まれたかと思ったら、瞬く間に将来の柱と壁になるべく木材が立てられ、「ほうほう」と感心するのも束の間、2階の床が敷き詰められて2階部分の壁と柱も一気に立ち、その勢いで屋根の骨組みも乗つけられた。ここまではほんの数週間。早っ。

この頃はヒマさえあれば頻繁に現場チェックに行ってたのだが、行く度その姿を変えていて、見に行くのがとても楽しか



ここから、



こうなって…

こうなるまでたった数週間。そんなもんなのか?



ったのを覚えてるな。

週末には家族全員で行って、一応フェンスで仕切られてるけど隙間アリだから余裕で侵入(ホントはダメなんだろうけどオーナー特権)。玄関口から「お邪魔しまーす」と入り、間取りを確認しつつ中へと進む。子供らも「ココはどんな部屋になるの?」と気になる様子だったがすぐに飽きてしまい、大切な大切な家の枠組みに、そこら辺に落ちてた釘を小石で打ち付け始めやがった。それもコンコンコンと小気味よく。ゴルァ! 何しとんじゃい!

この枠組み、ディテールををよく見ていくと、釘がしっかり噛んでなかったり、水平であるべきところが若干ナナメになってたり、虫に食われたような穴が開いていたり、不安なポイントがないわけではない。将来的には見えなくなる部分だからこそ、しっかり造ってもらわなきゃならないところなのに、やっばこらへんがOZクオリティ。大丈夫なのかよ?

それでは、続きはまた次回に…。

世界モダン建築巡礼 58

Jun Sakaguchi (Architect)

Beijing Olympic Stadium

by Herzog de Meuron

2008年の北京オリンピックで競技メイン会場となったスタジアム。そのユニークな外観はランダムなスチールの構造体で覆われ、「鳥の巣」という愛称で呼ばれた。オリンピックパークを通り抜ける軸線に対し、水泳競技場のWatercubeと対峙して並び、その二つが火と水を表現し、また中国の陰陽の対比を象徴し、互いを高めあうような存在となった。

スイスの世界的建築家集団Herzog de Meuronは多くの前衛的な作品を世界中で作りつづけるが、彼らは2003年にデザインコンペのプロセスを経てこのスタジアムのプロジェクトを手に入れ、色々な問題を経ながらも2008年にオープンすることができた。

プロジェクトは彼ら以外に中国現地の設計事務所、中国の代表的なアーティストAi Weiwei、そして世界的なエンジニア集団Arupの共同設計によって行われた。デザインチームはそれまでの設計手法から離れ、透過性を持ち、器のような建物をつくることを考えた。そして中国の伝統的なセラミックの研究が行われ、結果として赤い器のような観客席とそれを覆うスチールのフレームがコンセプトとして採用された。スチールの構造体は約15mごとに設置され、可動式の屋根を支えるシステムとなった。各スチールの柱は1,000トンの重量を持ち、この構造体としての存在感を消すため、ランダムなスチールのフレームが追加され、それが全体を覆うデザインとなった。

当初のコストは5億米ドル



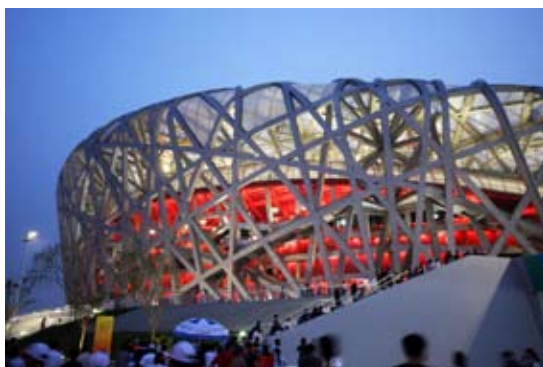
と言われたが、パリのシャルルドゴール空港の屋根崩壊が発覚してからオリンピック施設全般の再検討が行われ、結果として可動式屋根と9000席の観客席が

削除され、2億9000万米ドルまで工事費が下げられた。

スタジアムのランダムなスチールの構造体は全体を支える構造であるだけでなく、外と中を緩やかにつなげ、オリンピックパークのパブリックスペースを内部へと導く象徴的な役割を持っている。雨露を防ぐ必要のあるスペースはそのスチールのフレームの間に透明な膜が張られ、鳥の巣のように内部をやさしく守っている。

コンセプトとして素晴らしいこのプロジェクトは世界名建築のひとつといえるが、その複雑な構造や柔軟性に欠けるスペースからオリンピック後の利用が思うようにうまくいっていないという。取り壊しの話もあるというのが悲しい。

こんな建築を作り上げることは想像を絶する大変なプロセスがある。そうして完成した建築はそこに住み、また訪れる人たちに大きな影響を与える存在となっていく。



試してみよう マクロビオティックの健康レシピ 食べ物を変えると、体も心も変わる

池田恵子
soramame

第48回 鉄分たっぷりキヌアサラダ

ベジタリアンやビーガンの食事をする場合、栄養の心配はないのか、という質問をよく受けます。

穀物や野菜には、人間の体に無理なく吸収できるそれらの栄養がたくさん含まれているので、肉や乳製品を食べなくても問題はありませぬ。とは言え、やっぱり心配という方に、タンパク質、炭水化物、鉄分、ビタミン類、ナトリウムなど、栄養価の高い雑穀“キヌア”をご紹介します。炊いてサラダにすると食べやすく、プチプチした食感がやみつきになりますよ♪

*キヌアは南米原産の雑穀の1種です。

【材料】4人分

- A キヌア 130g(よく洗って水を切る)
水 200ml
- B オリーブオイル 小さじ1
シーソルト ひとつまみ
コショウ ひとつまみ
- C キュウリ 1/2本(細かいサイコロに切る)
ミニトマト 8個(半分に切る)
インゲン 5本(さつとゆでて小口切り)
パセリ 1-2本(みじん切り)
ワカメ 2g(少量の水で10分もどし水を切る)
- D レモン汁 大さじ2
オリーブオイル 小さじ1
玄米酢 小さじ1
醤油 小さじ2
メイプルシロップ 小さじ1/4



【作り方】

- ①鍋にAを入れて火にかけ、沸騰したら蓋をして弱火で20分煮て、火を止めてから10分ほど蒸らす。
- ②Bのオリーブオイルを①にかけて混ぜ、シーソルトとコショウを加える。
- ③Cの材料を②に加える。
- ④Dの材料を小さなボウルで混ぜてドレッシングを作り、全体にかけて合せる。

*シーソルトには、ミネラルが豊富に含まれます。

*上に伸びる野菜は上昇のエネルギーを持ち、身体に溜まった老廃物や滞った気の流れを外に出してくれます。

*コンブやワカメは海藻の一種。鉄分、カルシウム、タンパク質などが豊富です(どれも100gあたりの含有量は牛乳より多い)。戻し汁は捨てずに、スープストックとしても使えます。

*メイプルシロップは楓の樹液から作られています。100%ピュアなものを選びましょう。

マクロビオティックって？

マドンナやハリウッドスターたちが実践している食事法ということで有名になったマクロビオティック。実はこれ、大正時代に日本で発祥した「食養法」「正食法」のことです。穀物を中心とした菜食をする、食物を丸ごと食べる、住んでる土地で採れたものを食べる、動物性の食を避ける、白い砂糖を避ける、そうしているうちに自然と心も体も健康になる。そんなシンプルで簡単な方法です。気軽にできるマクロビオティックのヒントがいっぱい。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

→ www.soramame.com.au

DISCOUNT 日本食販売

JCS会員様 特別ご優待
お買いもの合計金額より5%割引!!
必ずお会計の前にJCS会員の旨をお知らせ下さい。

イチビキ
店長おすすめ!!
献上いろいろみそ 450g \$7.80

マルコム
丸の内タタ食堂の減塩みそ 650g \$9.45

J-Top Trade Australia Pty. Ltd. Unit 3, 26-32 Kent Rd, Mascot NSW 2020
Ph: 02-9317-2500 / Fax: 02-9669-1988 / Email: order@jtt.com.au
営業時間: 月~土 10AM~5PM / オンラインショッピング: www.jtt.com.au
*駐車スペースあり*配達サービスあり(詳しくはWEBサイトをご覧ください)

Travel Centre International

格安航空券お取り扱い中!

弊社では発券手数料等ははたいておりません。
他社料金と比べてみてください。
ご帰国予定が決まったら、一度ご連絡下さい。

JR パス取扱中

各種ツアー

日本からご友人が来られる際は...
人数が6人以上集まれば、ブルーマウンテンや土ボタルツアーを貸切で催行いたします!詳しくはお問い合わせ下さい。

Suite 602 Level 6
309 Pitt Street
Sydney NSW 2000

☎02-9267-7751
Email: tci.travel@bigpond.com

第18回 生きている日本語を学ぶ

進め!

マルチカルチュラルイズム

by.Yushiro

ついに「チンする」が市民権を得て公式に認められました。文化庁の「国語に関する世論調査」の結果、名詞に「～る」「～する」をつけた形の動詞として、「チンする」「サボる」「お茶する」などが使用頻度が高く、日常生活に根付いていることが明らかになったのです。(文化庁「平成25年度「国語に関する世論調査」の結果概要」より)

これらの言葉はあえて言われなくても、多くの人が毎日のように使っていると思います。でも、「事故る」(事故を起こす)、「パニックる」(パニックになる)はまだ認知度は50%です。「ディする」(けなす、否定する)や「タクる」(タクシーに乗る)となると使用率は5.6%とかなり低いです。(それでもこれらの言葉を入力するときちゃんと変換されたので、かなり一般的と判断されているようですが。)

さて、言葉は“ナマモノ”ですので、どんどん変化していきます。「チンする」や「サボる」も、「メモる」と同様、しっかりと日本語として定着していくのでしょうか。最近では「ググる」(検索する)なんて言葉もありますね。

こういう世論調査の結果を見て、必ず「今の若者の言葉は乱れている」などと言うオジサン(オバサン)がいます。でも、そんなオジサン(オバサン)もしっかり自分たちの世代の言葉を使っています。名詞+「～る」の形では「デモる」が有名ですね。団塊の世代にとっては毎日デモに明け暮れた日々を懐かしく思い出すことでしょう。でも、「デモる」は残念ながら今の20代には通じません。

言葉の変化は、世代特有の言葉使いが、いわば仲間内の言葉が広まっていき、場合によっては世代の違いを乗り越えて広がると辞書に載ったりするわけです。ひところ「KY」(空気読めない)が流行りましたが、はたしてまだ生きている(一般化している)のでしょうか。KYのように言葉を略してアルファベット数文字で表現する略語があります。スマホやネットで入力する手間を省くための略語ですが、「KWSK」(詳しく教えて)なんて生き残っていきけるのでしょうか？

ところで、世界で日本語を学ぶ人たちは約400万人います。海外における日本語教育は大幅に増加、拡大しているようです。やはり、背景には昨今の日本のポップカルチャーへの関心や、コスプレ文化の人気など、アニメやマンガに象徴される現代日本文化の影響があるのでしょうか、…と思っていたのですが、実はそう



でもないようです。日本語学習の目的を問う質問には、こんな結果が出ています。

- (1) 日本語そのものへの興味(62.2%)
- (2) 日本語でのコミュニケーション(55.5%)
- (3) マンガ・アニメ・J-POP等が好きだから(54.0%)
- (4) 歴史・文学等への関心(%49.7)
- (5) 将来の就職(42.3%)

(国際交流基金の「2012年度日本語教育機関調査」の結果概要より)

以前は、日本企業への就職のためという実利的な理由が上位を占めていましたが、トップが「日本語そのものへの興味」というのは意外でした。かつて日本語は「悪魔の言葉」として嫌悪され、漢字を廃止してローマ字表記にすべきだと真剣に議論された時代もありましたが、様変わりです。それほど「日本」が海外に進出して世界に存在感を示しているということですね。(もちろんそのキッカケはアニメやマンガかもしれませんが。)

日本語学習者の国別ベスト5は、①中国(26.3%)、②インドネシア(21.9%)、③韓国(21.1%)、④オーストラリア(7.43%)、⑤台湾(5.9%)となっています。オーストラリアはかつては日本語学習者が38万人と、中国・韓国に次ぐ3位でした。その後減少を続けてきましたが、今回30万人弱にまで増えてきたことは嬉しいニュースです。アジア諸国の中で健闘しています。

日本に関心を示し、日本語を学ぼうとする人たちが増えているのは嬉しいですね。日本をもっとよく知ってもらいたいですし、親睦交流のためにも日本語を学ぶ人が増えているのは大事なことです。これからは「チンする」もしっかりオージーが話すようになるのでしょうか。

かつてSBSテレビで「日本語大好き」という番組が放映されるほど、オーストラリアの日本語熱は高かったのですが、再びそのような日が来ることを願って、周りのオージーに日本語で話しかけてみてください。

スプリングフェスティバル報告

ウィロビーカウンシル主催の「スプリングフェスティバル」の一環で、9月25日午前10時から3時間に渡り子どもたちを対象にした催し物「Around the World with 80 Quizzes and Games」が、チャッツウッドのThe Concourse内、シビックパビリオンを会場に開催され、JCSからも多くのボランティアが参加しました。

今回は、昨年以上と思われる来場者で賑い、子どもたちは楽しい時間を過ごすことができました。会場入り口で、スタンプラリーのカードを受け取った子どもたちは、思い思いに各国のブースに行き、ゲームやアクティビティを楽しみました。

会場中央には、日本をはじめアボリジニからアルメニア、中国、韓国、フランス、インド、インドネシアなどの国の各10問のクイズに答えるコーナーもあり、みんなそれぞれの国情報が書いてあるヒントを見ながら一所懸命に答えを書き入っていました。日本のブースではJCSのほかモザイクのメンバーも加わって、その

友人、知り合いや学生など多くの方が手伝いに集まり、習字、折り紙、お手玉、剣玉、あやとり等を子どもたちに教えていました。ゲイル市長さんも折り紙のカンガルーをもらってとても喜んでいました。各国のアクティビティをトライした子どもたちはラリーカードにスタンプを押してもらい、全部貯めたところで、スタート地点に戻って賞品を受け取っていました。

さまざまなブースの中でも日本のブースは人気が高く、特に習字と折り紙を待つ子どもたちが多く見られ、教える方も一所懸命で、書く文字の手伝いや、折り紙の折り方の指導に余念がありませんでした。習字を書き終えた子、折り紙ができた子の笑顔を見ていると、教える方も嬉しくなるそんな楽しい一日を過ごさせて頂きました。（記・渡部）



\$5.00
Value Revolution!



Makoto Sushi Bar Chatswood

336 Victoria Avenue Chatswood
ph) 9411-1838, 9411-1044

平日 11:30 - 14:30 17:00 - 21:00

土、日 11:30 - 21:00 (終日オープン)



今月の誠スペシャル

← 大好評 バリュレポリューションメニュー

*まだまだ今月もやります \$3.00 すしランチ

*今月の梅酒 & 日本酒をお楽しみください



10月のJSC 会員様特典

Facebook に いいね！を押していただいたら

← バリュメニュー 一品無料！ (諸条件あり)

おひとり様/ご家族様 1回限りのサービスとなります。

ご利用の際はこちらの会報をお持ちください。

バリュメニューは月から金のランチ以外となります

詳しくは下記担当までお問い合わせください

その他お得な情報は

Facebook (Makoto Chatswood)

鱈屋グループホームページをご覧ください。

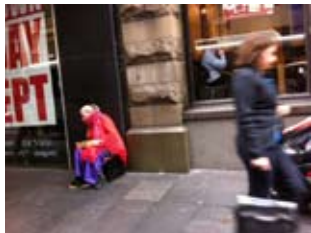
担当 野々垣雄哉 池田久美

*チャッツウッド駅に誠弁当が 12月オープンします

和子の ☺ 愚駄話し

【第14回】 流刑囚体験

能と狂言特別展が開催中は毎週2、3日、朝から美術館に通う日が続いた。その日の気分でライトレールと電車乗り継いだり、バスでシティまで出たりする日々にながったことがある。街の中に結構たくさんのホームレスが物乞いをしていることだ。ジョージストリート沿いには常連が何人もいる。バスの窓から見ていると、KFCの前ではわんちゃん用のボウルを持って立ち上がったホームレス氏が水をもらいに行き来するからと言いついて聞かしている様子。その後を小さなわんちゃんをきちんとご主人様の代わりに留守番していた。



バスがもう少し先に進むといつも赤いケープを羽織った女性がいる。彼女はそれほど汚い感じはしないし最初見かけた時はちょっと疲れて座っているのかと思った。でもよくよく見ると彼女もホームレス。小さな箱を前に座っている。

キングストリートとの四つ角は道をはさんで両側にいる。そのうちの一人はやはりわんちゃんと一緒。暖かくなって来たとはいえ、路上に座っているのはずいぶん冷えるのではないかと横目で見て通り過ぎる自分の腰の方がぎくしゃくしてしまう。



何をキッカケに路上生活をするようになるのだろう、と歩きながら考えてしまった。

むかし実際に路上生活を経験した人が書いた本を読んだことがある。その人は文章を書いて生活していたのだが、ある時からまったく仕事が来なくなってしまう、気がついたら路上生活をしていたそう。

そんなものかしら？

ジョージストリートからキングストリートに曲がり、マックオーリーストリートへ歩いて行くと路上生活者はもう見かけない。やはり人通りの多いところへ集まっているのだと思いついて横を見ると、砂岩の扉にそってテーブルがありその上にひとつのお皿とスプーンが乗っている。横にあるプラークを読むとThe Great Irish Famineの記念碑と書いてある。1800年代にアイルランドで起きたジャガイモ飢饉で、オーストラリアに避難して来た集団の中で身寄りのない女子供を収容したハイパークバラックスである。



ジャガイモ飢饉とは、1845年から4年に亘ってアイルランドで主食のジャガイモに疫病が蔓延し、人口の2割が餓死し、10~20%の人たちが国外に脱出したといわれる。ジャガイモの産地はもともとアンデスの山奥で、その住民は違った種類のジャガイモを植えることで疫病を防いできたそうだが、アイルランドのような寒冷地に合うジャガイモの種類は限られていたため、植物疫病で全滅してしまったということだ。

餓死寸前でアイルランドを後にし、流刑囚としてシドニーに到着した人たちを待っていたのはどんな生活だったのだろう。十分な食事にありつくことも困難だったのかもしれない。現在のシドニーでは路上生活者も、スープキッチンと呼ばれる炊き出しの施設もあり、食うに困るということはないという。

ハイパークバラックスの学校休みのプログラムに、1800年当時に収容されていた流刑囚と同じようにハンモックに寝て、彼らの食べていたような朝食を食べる体験イベント「The convict breakfast」がある。

あれもこれも嫌いといふ毎日食事時に文句を言っている孫たちを連れて行ったらどうだろうと調べたら、6回行われるこのイベントは残念ながらすでに完売。食べ物があるのが当たり前、好きなものでなければ食べたくないという孫たちに少しは勉強させようと思ったが、次のホリデーまで流刑囚体験プログラムはお預けになってしまった。

ハイパークバラックスの係員に聞くと、ひとつのグループは20人までなので早く予約しないとすぐにいっぱいになってしまうとのこと。今度は学校休みに入る前に予約をしよう。





先月まで「能と狂言」「アーチボルド賞2014」などの特別展が催され、にぎやかな雰囲気的美術館でした。開催中に沢山の方にご来館頂き、また「能と狂言」特別展最終日前日にはJCSの会員の皆様にもお越し頂きました。美術館CA一同大変うれしく思っています。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後の催事は「ポップアート展(Pop to popism)」(1/11/2014-1/3/2015)や、「Dobell Australian Drawing Biennial」(21/11/2014-26/1/2015)が予定されています。

王侯貴族に愛された陶磁器

大きな催事の端境期にあたる10月は美術館は少し静かに時が流れていきそうです。今回はヨーロッパの磁器についてご紹介します。ヨーロピアンギャラリーに磁器がほぼ常設展示されているのはお気づきでしたか？ギャラリー奥にはライブラリーに下りる階段があり、両側にたくさんの磁器が展示されています。全部で200点ほどありますが、すべて18世紀のヨーロッパの名窯のものです。

18世紀以前の陶磁器の技術については東洋が西洋に常に先行していました。16世紀頃から海と陸のシルクロードを介して盛んに中国や日本の磁器が輸出され、ヨーロッパの人たちを魅了していました。美しい白色の硬質の焼物、鮮やかな赤や青の色彩の絵、そういう器を目指してヨーロッパの王室は自分たちの窯を持つようになります。当時真っ白な器というのは「白い黄金」と呼ばれるほど高価で、製造が難しかったのです。難しいゆえに東洋の器への憧れがどんどん強くなり、白く硬質の器にオリエンタル風の絵柄を施した磁器がヨーロッパ各地ではやりました。

特にドイツのマイセン窯を所有していた強王アウグスト(1670~1733)は日本びいきで、日本の器を買い集めるだけでは飽きたらず、柿右衛門窯のデザインを



そのまま模した器を自分の窯で多く作らせています。展示品の中にも日本人に馴染みのある有田焼の柿右衛門風の絵柄を見つけることができます。マイセン窯ではその後デザインにも多様性が生まれていきます。ヨーロッパ調の豪華で繊細な絵柄はもちろんですが、ブルーアンドホワイトで知られる「ブルーオニオン」や「マイセンの花」など現在でも人気があり、作り続けられているシリーズなども現れてきます。

陶磁器は王侯貴族の嗜好品としての役割を果たしていただけではありません。18世紀の頃は列強諸国が覇権を争った時代でもあり、ヨーロッパの宮廷晩餐会は重要な外交の場でもありました。美しい器でディナーテーブルを埋め尽くすのは富と力を表し、揃いの食器で食事することは友好の証であったようです。こうして、数々の王室が独自の窯を持った時代ですが、ドイツのマイセンと並んでヨーロッパの陶磁器のモードを牽引したのがフランスのセーブル窯です。ルイ15世の寵愛を受けたボンパドール



ール婦人(1721~64)が作らせた窯で、彼女が好んだ「ローズボンパドール」と呼ばれるピンクをはじめ、青、水色、緑、黄などの地色で器面を覆い、白く塗り残した部分に絵を施した「窓絵」の技法はヨーロッパの各窯で大流行しました。器の地色に合わせて柔らかなタッチの花、鳥、人物を描いた器はフランス宮廷の優雅なロココスタイルを見事に表現しています。

美しい器の陰には陶工たちの命を削る取り組みがあったことも忘れてはならないことです。現在のようコンピューター制御の電気窯、ガス窯がなかった頃です。陶工たちは窯の温度を保つために、また鮮やかな色を出すためにどれほど大変な思いをして一つの器を作り出したことか。当時の陶工たちは一様に短命であったそうです。

地下のライブラリー前ではマイセンとセーブルの器だけでなく、今はもう廃窯になってしまった英国のポー窯、ダービー窯、ウースター窯などの陶磁器も見ることができます。カップ&ソーサー、ディナー皿などテーブルウェアの数々を見ていると豪華で華麗な18世紀の王侯貴族の食卓が目につかぶようです。

器を見比べて、それぞれの窯の特徴やまた共通点など探してみると面白いのではないのでしょうか。美術館の中にある絵画や彫刻と比すれば、ごくごく小さい展示物ですが、静かな午後のひと時に、または週末少し早起きして観にいらしてはいかがでしょうか。

(NSW州立美術館コミュニティーアンバサダー:渡辺恵理子)

映画 CINEMA

The Hundred-Foot Journey

監督: ラッセ ホルストレム
 出演: ヘレン・ミレン、オム・プリ、マニシュ・ダヤル、シャーロット・ル・ボン他
 対象鑑賞者: PG
 おすすめ度: ★★★★★☆



ムンバイでレストランを営んでいたインド人一家が、フランスの田舎町にやって来た。パパはインドレストランをオープンさせてしまったが、わずか100フィートをはさんだ真向かいには、ミシュランの星を獲得している有名なフレンチレストランが。その女主人マダム・マロリーとパパのバトルが勃発する。天性の料理の才能を持つパパの息子ハサンは、フランス料理にも興味を持ち始めて…。「食」を通じて、最初はバトルの火花が散っていた人々もだんだん心を通わせていくというほのぼのとした映画。戦いだの、人殺しだの、といったバイオレンス映画が多い昨今、こういう映画を見ると、心温まる。後味もよくて、ハッピーな気分になれる一作。

書籍 BOOKS

進撃の巨人 (Attack on Titan)

著者: 諫山創
 発行: 2009年10月号より
 「別冊少年マガジン」連載中
 おすすめ度: ★★★★★★



日本のストーリー創造力の才能は、もう随分前からマンガ・アニメに移行してしまったと思う。世界中で爆発的な人気を誇る日本製のマンガ・アニメの隆盛は、この分野が世界に通用する汎用性を有することを立証している。この作品も、小説・TVアニメ・映画のメディアミックス展開で世界市場で大成功を収めている。ストーリーは、3重に築かれた巨大な壁の中の世界で繁栄と平和を謳歌する人類が、突然壁を壊して襲ってきた圧倒的な力を持つ巨人たちのため、滅亡の縁に立たされるという虚構世界。壁の外の現実に目を背け、偽物の平和の内に安全に生き延びることを選ぶか、それとも壁の外の残酷な現実世界に向き合い真の自由を求めて戦うのか…。マンガ・アニメといえども提示される問題は深い。登場人物たちがユニークで魅力的なものこのメディアならではの。

音楽 MUSIC

YES!

アーティスト: Jason Mraz
 発売: 2014年9月
 おすすめ度: ★★★★★☆



2002年にデビューしたJason Mrazはジャズやソウル、ロック、レゲエ、ポップ、ブルースなどあらゆるジャンルを取り入れたアーティストでグラミー賞を二つ受賞している。700万枚以上のアルバムを売り上げ、4枚目のアルバム、Love is a four letter wordはビルボードで2位となった。アコースティックギターをメインとし、非常に生なサウンドを主体とする。そのやさしい音は率直でストレイトな内容で最近のポップ音楽の傾向と一線を画した人間的な感覚を強く与える。今回のアルバムは初のアコースティックアルバムでまさにコンピュータや日々の生活を忘れて自然で人間的な生き方を楽しようという内容。曲の全てが彼とパートナーのRaining Janeによって書き上げられ、温かみのある素晴らしいアルバムといえる。特にLong DriveやQuiet, Back to the earthは日々の忙しい生活から飛び出て人間的な時間を持つことを問いかける気持ちのいい曲。たまには時間を忘れてこんなアルバムをゆっくり聞いてみたい。

鑑賞 DVD

真夏の方程式

監督: 西谷弘
 脚本: 福田靖
 出演: 福山雅治、吉高由里子、北村一樹、杏、他
 映画公開: 2013年
 対象鑑賞者: G
 おすすめ度: ★★★★★★



福山雅治主演のテレビドラマ『ガリレオ』の劇場版第2作。東野圭吾の同名の本が原作。両親の都合で一人、美しい海を誇る玻璃ヶ浦にある親戚の旅館で過ごすことになった小学5年生の少年恭平。湯川は海底鉱物資源開発の説明会にアドバイザーとして出席するために玻璃ヶ浦へ来ていた。湯川は恭平の親戚の旅館に宿泊するが、同じ旅館の客が翌朝海辺で変死体となって発見される…。この作品では「科学技術と環境保護」というテーマが織り交ざっている。湯川と少年のやりとりが多いせいいかほのぼのとしたシーンもあり、これまでのシリーズとは違う雰囲気を出している。第37回日本アカデミー賞(作品部門)を受賞したのも納得の感動の一作。

●このコーナーに皆さんからの投稿をお寄せください。映画・音楽・本・DVDなど、感動した作品や、是非、皆さんに紹介したい作品…など、読者の皆様からの投稿をお待ちしています。(メールあて先: hbma@optusnet.com.au)



【第143回】 Near Death Experience

Near Death Experience (NDE)とは、文字通り何等かの事由で死の間際まで近付きながらthe hereafter (来世)に行かず、the here (現世)に戻り蘇生するまでに見聞した多様な事跡の体験記録です。NDEに対する日本語表記の内『臨死体験』が最も一般的になっていますが、内容と発生原因等に対し広く関心が持たれるようになったのは、救急救命の普及及び集中医療室体制の充実に合わせ、体験者の増加が明確になった1970年代以降からです。自らのNDEを公開する著名な医師や科学者の数も増え、発表される科学論文も右肩上がり増加を始めました。1980年代に入ると、国際的なNDE研究会並びに学会が設立され、NDE体験者の一層の掘り起しに加え古代神話や異常現象を含めた民間伝承の広範な渉猟も進められ、それ以後マスメディアにおいても取り上げられる機会が一気に加速しています。

NDEは、死に近い或はそれに類似した超非常時における個人的体験ですから、当然ながら報告される事例及び内容に相当なばらつきが見られます。夢や幻想との比較し違いがはっきり解る特質は、多くの報告例に殆ど共通しているイメージの鮮明さや、『対外離脱』と名付けられた昏睡する自らを外から客観的に観察する特異な体験等々。多分に奇異と思われる『対外離脱』の公開された一例を挙げるならば、アメリカの僅か2歳の男児が呼吸停止状態にあった自身と、看病する母親や医師を病室の一隅から見ていた状況を語っています。彼の呼吸停止は、生後1カ月頃から始まり約4カ月後に回復したとのことなので、全くの新生児が遭遇した驚異のNDEでありながら、母

親が明らかにした自らの記憶と内容が合致するとの証言が裏付けとなっています。NDEに多い他のパターンとしては、トンネル或は闇の中を抜けると光輝く世界が開ける『闇と光のセット』、色彩豊かで平穏な来世を間近で観望する『お花畑体験』等があります。

生命維持機能が極限まで下降した状況下で感得し、“夢”とは明らかに異なる目覚めた後も鮮明に記憶に残るNDE。解明に向けての仮説は、研究が隆盛になるにつれ広範な分野から続出しています。正鵠を得た回答への道程は長く、脳機能及び障害の両面からNDEに向き合う日進月歩の脳科学に期待するところが大きいですが、残念ながら多様な事例を一元的に説明するには暫くの時が必要なようです。解明を難しくしているのは、『対外離脱』に明らかなように通常の思考や記憶機能がほぼ完全に不能状態にありながら、半死状況を客観視出来ているジレンマです。窮状を打開する救世主として、昏睡状態に有る実体に代わりNDEの記憶を担う“意思を持つ魂”といった、科学に馴染難いと思われる存在も想定されています。NDEに魂を揺さぶられた多くの蘇生者は、人生観を大きく転換させてもいます。体験することの可否は別にして、NDEとの出会いは、思い掛けない時にさりげなく訪れます。

最後に筆者自身のNDEを記して、本稿の纏めとします。昨年4月に大腸癌が見つかり摘手術を受けたところ、術後の経過が思わしくなく腹膜炎を発症。緊急再手術の途中で危篤状態に陥り、目覚めた時には集中治療室へ移されていました。この間に俯瞰した、極才色のお花畑の映像が鮮明に残っています。綺麗に咲き集う花々しか記憶にありませんが、来世の極近くまで行って来たのは確かなようです。



今年の祭りは12月13日(土)

日時: 12月13日(土) 11時~19時

場所: Tumbalong Park, Darling Harbour

今年も日本の祭りを盛大に催します。

出演希望者、出店希望者は、以下までご連絡ください。
祭り運営のボランティアスタッフも大募集しています。

Email: info@matsurisydney.com



暮らしの医療 ビタミンD

ドクター・鳥居／Northbridge Family Clinic

一般にビタミンは通常体内で作られず、体外から微量栄養素として摂取しなければなりません。ビタミンDは体内でも合成できます。紫外線が皮膚にあたり、皮膚で作られます。むしろ、ビタミンDは体外からの供給(全体の5~10%にすぎない)よりも紫外線の照射によって体内で合成される量の方が多く、その供給源が大切です。

ビタミンDを多く含む食べ物はかぎられています。近代のライフスタイルの傾向で、室内で過ごす時間が増えています。そのため、ビタミンDの不足している人が多くなってきています。また、乳幼児のあいだでも極端な母親の母乳信仰とアトピーを恐れた食品の制限によってビタミンD不足、あるいは欠乏症が増え、くる病になる幼児も出てきています。

母乳にはカルシウムが多く含まれ、あらゆる点で人工乳よりも優れたことが多いのですが、ビタミンDはあまり含まれていません。

ビタミンD不足の影響

乳幼児、あるいは成長期の子供にビタミンDの欠乏があるとくる病になり、骨軟化症、ひどいO脚、成長障害、歩行障害をおこします。

大人で骨軟化症やくる病になることはほとんどありませんが、ビタミンD不足は蔓延しています。人口の約70%にも及ぶという調査結果です。ビタミンD不足の場合、腸からのカルシウムの吸収が落ち、血中のカルシウムのレベルが下がります。筋肉や神経が正常に機能するためには血中カルシウム濃度が一定範囲に保たれていなければならないので、副甲状腺ホルモン(Parathyroid hormone, PTH)の分泌が増えます。このホルモンは骨の溶解を促す働きがあり、その効果によって骨のカルシウムが放出され、血中濃度を保とうとします。当然この状態ですと骨粗鬆症とまではいかなくとも骨は弱くなります。

実際に骨粗鬆症がおこっている人が骨粗鬆症の薬を服用している場合、ビタミンDが不足していればその薬の効用は十分に発揮されません。ですから、このような治療薬を使用するとき、ほとんどの場合はカルシウムとビタミンDの補給も同時にしなければなりません。もうひとつ注意しなければならないのは、カルシウムとビタミンDの補給だけでは骨粗鬆症は改善されません。骨が弱くなったり骨粗鬆症になることをある程度防げますが、すでに骨粗鬆症がおこっていれば骨粗鬆症治療薬も必要です。

体内のビタミンDのレベルは血液検査で25水酸化ビタミンDというビタミンDの代謝物を測るとわかります。

必要な日光の照射量

ビタミンD不足を解消、あるいは防ぐためには外で日に当たる必要があります。必要な照射量については意見が多少異なりますが、一般的に薦められているのは週に4~6回、顔と肘から先の腕を15分直射日光に当てることです。条件によって多少の調整が必要です。赤道に近い経度、夏場ですと日光は強いので時間を短縮しなければなりません。また、午前10時から午後2時までの一日で一番日差しの強い時間帯は避けるようにしたほうがいいでしょう。

肌の白い人はより直射日光に敏感です。逆に色の黒い人は照射時間を少し長めにしなければなりません。

照射量が多すぎると皮膚癌の危険がおこってきますので、やたらと長い時間日に当たればいいというわけではありません。日光に当たりすぎてビタミンD過剰となることはまずありません。

食べ物からのビタミンD

ビタミンDが比較的多く含まれている食べ物はサケ、サバ、ニシンのような油の多い魚、ミルク、卵、豚肉、牛レバー、キノコ、リコッタチーズ、マーガリンなどと限られています。食べ物だけでビタミンDを充足させるのはかなり困難なので、やはり日に当たることも重要です。

ビタミンDのサプリメント

Cholecalciferol(vitamin D3)として売られている商品がほとんどで、1錠1,000IU(国際単位)が通常です。ビタミンD不足の度合いにもよりますが、1日1錠を数週間続ければビタミンDを充足できるはずですが、この服用量でビタミンD過剰になることはまずありません。



仏教語からできた 日本語 その109



渡部重信
hbma@optusnet.com.au
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長

優曇華(うとんげ)

まだ、お侍さんがいた時代、仇(かたき)を探して諸国を旅していた武士がようやくにしてその相手と出会った。そんな時、武士は仇に向かって「盲亀(もうぎ)の浮木(ふぼく)、優曇華の花咲くに会う思い…」といった台詞を言っていたそうです。

実はこの文句は、有名な大乘経典『法華経』に典拠があるのです。その経典では、「仏に値(あ)いたてまつることを得ること難きこと、優曇波羅の華の如し、また、一眼(いちげん)の亀の、浮木(うきぎ)の孔(あな)に値うが如ければなり」(『妙莊嚴王本事品』)とあります。

インド人は輪廻転生を信じています。人間は、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天の六つの世界を生まれ変わり死に変わりして輪廻しているが故に、私たちが人間に生まれる事はめったにない有難いことであり、ましてや人間に生まれて、その上、仏の教えに出会う確率となると殆どゼロにちかいものがある。それを『法華経』では、「優曇波羅の華」と「一眼の亀」に喩えているのです。『法華経』では、「一眼の亀」と言っていますが、普通は、「盲目の亀」の比喩として語られることが多いかと思えます。

百年に一度、海面に顔を出すという盲目(或いは一眼)の亀が海に潜っている。大海には浮木があって、そこに孔があいている。百年が経って海面に顔を出した亀の頭が、偶然、その浮木の孔に顔をスポッと入ってしまう、という確率はどれくらいあるだろうか… 私たちが人間に生まれて、しかも仏の教えに出会うチャンスはそれくらいゼロに近い、というのが、「盲亀の浮木」の意味するところなのです。

次に、「優曇華」とは「優曇波羅の華」のことです。優曇波羅は、サンスクリット語の、「ウドゥムバラ(udumubara)の音訳です。これは、インドの伝説の植物で、この樹の花は、三千年に一度咲くと言われていいます。これも、私たちが人間に生まれて仏教に出会うチャンスがそれほどないことを言い表しています。

もっとも、三千年に一度であれば、「盲亀の浮木」よりかはずっとチャンスは大きいように思いますが、よく考えると、私たち人間は、100年位しか生きられないのですから、三千年に一度でも、三万年に一度でも、所詮は同じことでしょう。そんな、確率にこだわるより、私たちはせっかく人間に生まれたのだから、このチャンスを有効に生かすことが大切です。この一度しかない人生を、このいのちを、大切に生きていきましょう！ 合掌

法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 100



林由紀夫(Yukio Hayashi & Associates)

前回に引き続き、隣人に関わる問題についてです。

Q:隣がガレージを建て直しましたが、前より大きくなったようで、特に一部うちの土地に入ってきているように思われます。どうすればよいですか。

A:まずは礼儀正しく、友好的に、心配している点を隣人と話すのが良いです。専門家による土地の測量(Survey)を行えば、ガレージの一部が越境しているのか容易に確認できます。問題は、その費用を誰が負担するかという点です。折半するのが良いのですが、そうもいかない場合もあるでしょう。

Q:隣人が非協力的な場合は、どうすればよいですか。

A:まずガレージの一部が越境しているのか確認する必要があります。自己負担で測量を依頼するか、Land and Property Information(NSW州Department of Landの部署)に申請して土地の境界線を確認してもらいます。但し後者の場合でも、申請人に測量士の費用負担を求めてきますが、通常、\$1000以内だと思います。測量の結果、越境が確認できた場合は、測量士の費用負担も含め、対処方法について隣人と話をして下さい。満足のいく合意が得られない場合には、対処方法につき、Land and Environment Courtに判断を仰ぐことができます。

Q:Land and Environment Courtで越境が確認された場合、どのような対処を求めることができますか。

A:求められる対処方法には幾つかあります。例えば、
①あなたに対する損害金の支払い命令、
②越境部分の土地の隣人への売却またはリース命令、
③越境の部分につき隣人の法的権利を認める命令、
④越境している部分の構造物の撤去

Q:建て直されたガレージが前と大きさが違うのなら、Local Councilに対して訴えはできないのでしょうか。

A:それは可能です。ガレージ建て直しにつき、必要な開発許可をCouncilから正式に取ったのかを確認し、もし取っていないければ、Councilは当該ガレージの一部または全体を撤去する命令を出すこともできます。全く同じに建て直す場合は開発許可が必要ない場合もありますが、前の構造物より大きさが違う場合には、開発許可が必要となるでしょう。Councilは開発許可を出すにあたり、必ず建てられる構造物が隣接地に越境しないことを確認しますので、もしガレージが越境しているとすれば、それは開発許可に基づくものではないので、Councilは同じような命令を出すことができます。



近所 Petit Walk

最終回は、シドニー東部ダブルベイ/ボンダイジャンクションのCooper Parkです。

シドニーは公園天国！と思えるほど自然豊かな公園が所々にあります。しかし恥ずかしながら、9年前に犬を飼い始めるまでは公園があるのを知っていても、実際散歩したりして公園を満喫するというこ



はありませんでした。ですから、シドニーの公園の素晴らしさは、愛犬のお陰で知ることができたと思っています。

さて、そんな流れで、朝夕の散歩が日課になってから、シドニー東部の公園はほとんど制覇した！と思っていますが、一番好きなのはCooper Park。仕事などでストレスが溜まった時には、森林浴で心身を清めるためにどうしても行きたくなってしまふスポット。まさか、こんな大自然が街中の住宅街に？！と思うほど、それは素晴らしい異次元の雰囲気さえ感じる秘密のパワースポットなんです。

入り口は、シドニー東部の住宅街ダブルベイとボンダイジャンクション



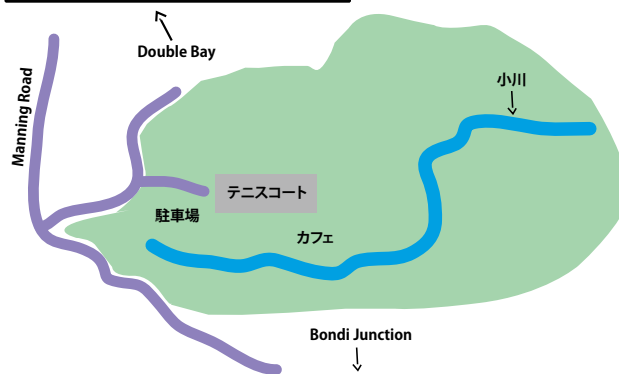
の間にひっそりとしたステキなテニスコートに隣接しています。テニスコートは6面程、小さなカントリーコテージのようなカフェもあり、一見、軽井沢？！みたいな雰囲気なのですが、なんとその横にある小道を



通って奥へ奥へと入っていくと、そこには苔むした、清々しい溪谷が広がっているのです。車等の雑音が一切聞こえないし、一見、一人きりで深い深い森へ迷い込んでしまったか

のような錯覚すら覚えます。なんだか、映画Lord of the Ringsのロケーションのような雰囲気。最初は、犬と二人？！きりで奥まで入っていくと、もし変な人が向こうから来たら怖い？！と思ってしまうほど、静かなブッシュ100%かと思っておりましたが、よくよくみると、崖の上の方は、隣接した住宅の庭になってい

COOPER PARK

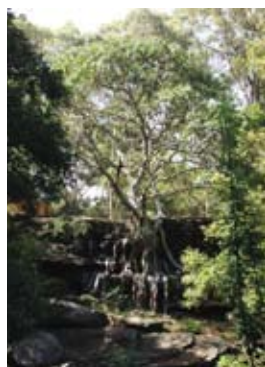


たり、ウォーキングをする人が適度にいるので安全だということもわかってきました。

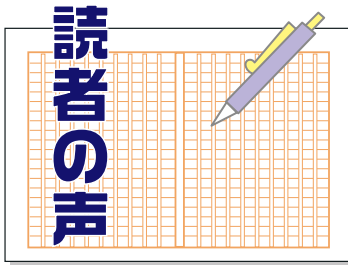
この地域に30年ほど住んでいる私ですが、ここを知ったのはつい5年ほど前。発見した当初は、コンビなどのヴァンの後ろに寝具を積んでテニスコートの駐車場に駐車して、キャンプに来る若者の姿をよく見かけることもありました。早朝など、溪谷のほとりで朝食を食べている彼等を横目に、なるほどキャンプしたくなるのもわかるなと思っていましたが、すると、ホームレスの人達までもが寝泊まりするようになってきたようで、このごろ「キャンプ禁止」の標識が立てられてしまいました。ということで、一時期、利用者の数が増えつつあったのですが、また、元の適度な静けさに戻ったようです。



小川のせせらぎや鳥のさえずりを聞きながら、マイナスイオンいっぱいの緑の香りにゆっくりと身体を包まると、全身が浄化されるのが感じられ、散歩後には心が研ぎすまされたような落ちつきを感じます。日本と違った乾燥した空気を感じることも多いシドニーですが、ここは年中適度な湿気と独特の緑の匂いでリフレッシュ効果抜群。なんでもこの緑の香りこそが、草木の奥底に眠るフィトンチッドと呼ばれる樹木の揮発性物質、いわゆる「森の精気」ともいえるパワーの根源だそうです。フィトンチッドには、自律神経の安定、肝機能の改善のほか、快適な睡眠を促し、さらにガンの予防となる細胞も活性化されることがわかっているそうです。気のせいかわかっても心から満足した顔をして家路についているように感じられます。みなさんもどうぞ、近くのブッシュで森林浴を楽しんでみて



ください。



読者の皆さんの感想をお待ちしています。お気軽にメール下さい。

▶ hbma@optusnet.com.au

シドニー日本人の情報誌としての価値

いつもJCSだよりを読ませてもらっています。情報量が多岐にわたり、面白い内容も多く見受けられます。この貴重な内容はもう少し幅広い範囲の日本人社会にも生かされればいいのではないかと思います。そのためにはこのJCSだよりの日豪プレスやJAMS、Cheers、Japaraliaなどでの公開や宣伝なども一つの手段かと思えます。また冊子をカラーとし、限定的でもいくつか日本人が集まるところに置くのもいいかもしれません。

日本という貴重なつながりをもとにシドニーでのコミュニティを広げていくのは素晴らしいことでしょう。貴重な情報をさらに一般に知らしめることでJCSの会員の数も増えるのではないかと思います。是非ご検討ください。(潤)

編集後記

▼文科省は9月26日、世界トップレベルの教育・研究を目指す「スーパーグローバル大学」37校を選定・公表しました。1大学あたり毎年1~4億円の資金を国が10年間投入して世界大学ランキングでトップ100入りを目指すそうです。しかし、現在のところTimes Higher Educationのランキングによれば100位圏内に入っているのは東大(23位)と京大(52位)のみ。実現はかなり厳しそうです。一方、今回明らかになったのは日本の大学の国際競争力の低さだけではありません。日本の18歳人口は1992年の205万人をピークに、2014年度には43%減の118万人。全体の人口減より恐ろしい勢いで日本から若い人たちが消滅していています。これでは大学の国際競争力を高めるところではないのでは？そこで海外からの学生を増やすことが国の方針の一つとなっており、英語で学位が取れることを売り物にする大学が増えるようですから、私達子どもたちに日本の大学の門戸が大きく開かれたことは確かです。(さかな)

シドニー日本クラブ2013/14 & 2014/15年度役員一覧

役職	氏名	担当/専門委員会	電話(自宅)	電話(会社)	携帯電話	E-mail
名誉会長	高岡 正人	在シドニー日本総領事	-	-	-	-
相談役	水野 亮三		-	-	0422-853-456	roymizuno@hotmail.com
会長	水越 有史郎	教育・福祉	9358-3269	9252-6307	0412-283-393	miz@jams.tv
副会長	岩佐 いずみ	事務・行事	9412-3434		0421-776-052	jcs@japanclubofsydney.org
副会長	渡部 重信	編集長	8901-4332	8901-4334	0412-396-014	hbma@optusnet.com.au
理事	Chalker 和子	教育・行事	9810-6735	-	0404-043-393	kazukoch9@gmail.com
理事	Costello 久恵	教育支援委員会	-	-	0423-976-035	jcs.daihyo@hotmail.com
理事	山田 朝子	教育支援委員会	-	-	0416-531-806	rikukohmei@tpg.com.au
理事	藤田 結花	事務局長	-	-	0421-776-052	jcs@japanclubofsydney.org
理事	新開 珠貴	行事	9439-0095	-	0409-255-474	shinkai_t.au@jtbap.com
理事	多田 将祐	行事	8807-4795	-	0404-187-579	kenerit@gmail.com
理事	平野 由紀子	行事	-	-	0414-758-295	yukikosal@yahoo.co.jp
専門理事	林 さゆり	親睦の会会長	-	-	0412-019-878	shayashi@global-promotions.com.au
専門理事	Fraser 悦子	コミュニティーネット	8920-1764	-	0408-643-420	etsuko@mediaetsuko.com
専門理事	Joannes えみ	City校代表	-	-	0407-461-618	jcs-jpschcity@hotmail.com
専門理事	松井 香代子	Dundas校代表	-	-	0411-734-819	jcs-jpschdundas@live.com
監事	Richter 幸子	会計監査	9972-7890	9452-2671	0414-667-438	richjms@bigpond.net.au
監事	八郷 泉	会計監査	-	9335-8913	-	ihachigo@kpmg.com.au

JCS傘下グループ・団体	代表・担当者	携帯電話	Email
親睦の会	林 さゆり	0412-019-878	shayashi@global-promotions.com.au
コミュニティーネット	Lincoln 瑞枝	0449-581-683	mizue44@hotmail.com
シドニーソーラン踊り隊	Chalker 和子	0404-043-393	kazukoch9@gmail.com
ソフトボール部	加藤 雅彦	0402-011-198	ckato@nmpa.com.au
レインボープロジェクト	平野 由紀子	0414-758-295	yukikosal@yahoo.co.jp
編集委員会	渡部 重信	0412-396-014	hbma@optusnet.com.au

エーブルネット PTY LTD

Suite 30, Level 17, 327 Pitt Street, Sydney 2000
Phone: 02-8002-3773

Email: info@able.net.au www.able.net.au

☆オプタスプリペイドをご利用のみなさんへ朗報☆

- 1.オプタスからの番号がそのまま使える!
- 2.プランは\$5~\$149までと豊富!
- 3.無料通話は基本料金に対して2~4倍ついてくる!

★オプタス:基本料金\$30→無料通話\$30★

☆エーブルネット:基本料金\$29→無料通話\$90☆

2人以上のレンタルでいつでも10分ごとの通話が無料!

ジャパンナビゲーター

Phone: (02) 8064-1141 (担当:理香)

Fax: (02) 8079-6641 Email: info@japannavi.com.au
www.japannavi.com.au/jp

JCS会員の皆様には常にベストディールを提供させていただきます。

http://twitter.com/Japan_navi にて格安料金情報を毎日更新しておりますので、是非一度ご覧ください。

ほんだらけ フル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool St, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

13,000冊の日本のコミックと、日本から発行翌日に届く最新雑誌各種が読み放題! 息抜きに、お待ち合わせまでの空き時間に、お子様の日本語のお勉強にも…。

シティの真ん中の癒し空間、ほんだらけ『マンガルーム』を是非ご利用ください! こちらのJCSクーポンをご持参いただくと、マンガルームを30分無料でご利用いただけます。(1枚に付き大人1名+子供2名まで利用可)

ジョイネット・インターナショナル

Shop 4, 325 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9267-4002

Email: info@joinet.info www.joinet.com.au

『お世話になったあの人へ、心をこめた日本の電報を送りませんか?』

KDDIが提供する日本への電報サービスを、JCS会員様には10%OFFにてご利用いただいております。お花や速達などのオプションもご用意しております。

JTTディスカウント日本食販売

Phone: (02) 9317-2500 (担当:大内)

Fax: (02) 9669-1988

Email: info@jtt.com.au www.jtt.com.au

お申し込みの際に「JCS会員」と明記ください。会員の方は5%割引とさせていただきます。

\$200以上のお買い物の場合は無料配達サービスを行っています。(※配送可能地区、曜日はホームページまたはお電話にてご確認ください。)

Rumiko's Creation ROCOMI Beauty Circle

Mobile: 0402-178-519

お肌の天敵、乾燥や紫外線…みなさん、毎日のスキンケアはどうしていますか?

きれいで健康なお肌は、健やかな毎日の“ビタミン美”…和漢植物エキス配合の薬用化粧品をぜひお試しください。店頭では手に入らない日本からの直輸入品です。

★JCS会員特典:初回ご購入の際に、ご購入合計金額より5%割引。さらに洗顔時の必需品、ソープネットをプレゼント! お気軽にご連絡下さい。

NBCA PTY LTD

Suite 1001, Level 10, 307 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 8999-2440 Fax: (02) 9261-0252

担当:人材(高橋)、ビザ(山口)、留学(上田)

Email: info@nbca.com.au www.nbca.com.au

ビザ申請及び人材紹介費用につきましては、JCS会員のみ通常の料金から10%の割引にさせていただきます。留学につきましては、JCS会員のみ通常料金から特別割引させていただきます。(学校によりこのサービスの対象にならないものもございます。)

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au

www.soramame.com.au

Mobile: 0402-961-907

そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申し込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

プラネットヘア(日本人美容室)

Level 2, 61 Market Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9267-4881

JCS会員の方は平日15%Off、土日は10%Offになります。また、平日2時までに2人以上でご来店の場合20%Off(カットは15%Off)

日本の器具、商品を使用していますので、安心してご来店ください。特に白髪染めは植物100%のヘナを使用し、パーマは髪のコシがない方には十仁パーマをお勧めします。詳しくはwww.planethair.com.au/jpを見てください。

鳥居税務会計事務所

Suite 202, Level 2, 60 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9241-3216 (担当:鳥居)

E-mail: sysougou@oz-japan.net

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。

同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
 PO Box 1690, Chatswood NSW 2057、電話:0421-776-052(9時~18時)
 Email:jcs@japanclubofsydney.org(藤田結花)まで。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、編集長の渡部重信 (Email: hbma@optusnet.com.au)
 または、JCS事務局宛にEmailか郵送にてお送りください。

入会案内

入会をご希望の方は入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金と年会費を添えてJCS事務局までご返送ください。入会申込書はサイトからダウンロードできます。

- ①入会申込書に、入会金 \$33 と年会費 \$70 の合計 \$103 (GST 含む) 相当の小切手かマネーオーダーを添えて、事務局までご送付下さい。現金は受け付けておりません。海外会員・法人会員の場合は入会金なし、年会費 \$110 (GST 含む) です。
- ②ボランティアによる運営のため、事務処理に多少時間がかかる場合があります。会報「JCSだより」(月刊)の送付まで最高2ヵ月を目処として下さい。
- ③住所・家族構成に変更があった場合は、会報送付の宛名用紙の「登録事項変更届」に記入のうえ、事務局までお送り下さい。
- ④入会金・年会費は変更される場合があります。

If you want to join the JCS, please fill in the application form and send it with an appropriate cheque to: Japan Club of Sydney PO Box 1690, Chatswood NSW 2057. If you have any queries, please call on 0421-776-052.

- (1)Please fill out the form & send it to the address above with a cheque or money order for the joining fee \$33 plus the annual membership fee \$70, total \$103 (inc.GST). DO NOT send cash. For overseas members or corporate members there is no joining fee but the annual membership fee is \$110.00 (inc.GST).
- (2)The Club is run by volunteers, who will process your application. Please note that it could take up to 2 months before you receive our monthly newsletter for the first time.
- (3)Should there be any change in your address etc, please let us know without delay c/- the above address.
- (4)Please note that both the admission fee & the annual fee of the Club are subject to change without prior notice.

JCSだより広告案内と申込書

広告締切は毎月15日です。広告(完全版下)と小切手(前払い)を、PO Box 1690, Chatswood NSW 2057までお送りください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横17cm×縦25.5cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1 / 2 ページ	横17cm×縦12.5cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1 / 3 ページ	横17cm×縦8.2cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1 / 6 ページ	横8.2cm×縦8.2cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)
折り込みチラシ	A 4 サイズ以内	\$ 440.00	\$ 330.00	※非会員の継続掲載にも、継続掲載割引あり。	

「JCSだより」では皆様からの広告を募集しています。本誌は会員に直接送付されますので、格安な料金で浸透力のある広告効果が得られます。お申し込みの際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、掲載する完全な広告原稿(サイズを守り、読みやすくはっきりと仕上がったアートワーク)を、小切手(宛名は、Japan Club of Sydney)と共に事務局宛(PO Box 1690, Chatswood NSW 2057)お送りください。全額前払いをお願いしています。締切は毎月15日必着です。

※折り込みチラシは、A4サイズ以内で印刷されたものを、部数分ご用意ください。(現在の部数は約400部です)

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

● JCSだより広告申込書 ●

広告スペース 1 ページ 1 / 2 1 / 3 1 / 6 折り込みチラシ

料 金 \$ _____ (\$ _____ × _____ 回)

期 間 20__年__月号のみ 20__年__月号 ~ 20__年__月号まで__回

会社名 _____ 担当者 _____

住 所 _____

電 話 _____ FAX _____ Email _____